

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年11月8日から2026年11月20日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド・インフラ株式ファンド

第33期（決算日 2023年5月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産額
29期 (2021年5月20日)	円 11,285	円 500	% 38.2	% 99.5	百万円 22,974
30期 (2021年11月22日)	13,572	800	27.4	97.2	25,707
31期 (2022年5月20日)	13,100	0	△ 3.5	94.3	24,433
32期 (2022年11月21日)	14,054	1,000	14.9	97.4	25,137
33期 (2023年5月22日)	13,597	0	△ 3.3	97.7	25,867

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託 証券 組入比率
(期首) 2022年11月21日	円 14,054	% -	% 97.4
11月末	13,993	△ 0.4	97.6
12月末	12,946	△ 7.9	97.4
2023年1月末	12,319	△12.3	97.7
2月末	12,543	△10.8	97.7
3月末	12,245	△12.9	98.3
4月末	12,958	△ 7.8	98.2
(期末) 2023年5月22日	13,597	△ 3.3	97.7

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2022年11月22日～2023年5月22日)



第33期首	14,054円
第33期末	13,597円 (既払分配金0円)
騰落率	-3.3% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・インドルピーが対円で下落したこと。

インド株式市場

期初から2022年12月初めにかけて、米国の利上げペースが鈍化するのではないかとの見方が広がる中、インド企業の7-9月期決算が好調だったことなどから、インド株式市場は主要指数が史上最高値を更新するなど堅調に推移しました。しかし、その後は世界的な景気減速懸念や欧米での金融システム不安に加え、インドの財閥アダニ・グループの不正会計疑惑などを受けて投資家心理が悪化し、インド株式市場は2023年3月下旬にかけて下落基調をたどりました。期末にかけては、各国金融当局の迅速な対応により金融システム不安が和らいだことや、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が政策金利を据え置いたことなどが好感され、インド株式市場は上昇しました。

為替市場

世界経済の後退懸念や欧米の金融システム不安などを背景に、米ドルが主要通貨に対し総じて軟調な展開となる中、インドルピーは1米ドル81~83ルピーの狭いレンジで推移しました。一方、円は日銀のイールド・カーブ・コントロールの見直しなどを受けて対米ドルで上昇したことなどから、ルピーは通期で円に対して下落しました。

国内債券市場

期初から2022年12月半ばにかけては、日銀の連続指値オペの実施などから日本国債利回りは狭いレンジで推移しましたが、12月20日に日銀はこれまで続けてきたイールド・カーブ・コントロールの見直しを行ったことなどを受けて日本国債利回りは0.5%程度まで上昇（価格は下落）しました。その後、2023年3月半ばに欧米の金融システム不安を背景に利回りは一時急低下しましたが、植田新日銀総裁就任後の日銀の政策修正観測から上昇に転じました。しかし、4月下旬の金融政策決定会合で早期の政策修正観測が後退し、期末にかけて再び利回りは0.4%を下回る水準まで低下しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は、決算で需要低迷などの要因から売上、純利益ともに事前予想を下回ったことなどから株価が下落したディクソン・テクノロジーズの保有などがマイナス要因となりました。一方、旺盛な需要や原材料費の下落などを背景に好調な決算内容を発表し株価が上昇したウルトラテック・セメントの保有などはプラス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第33期	
	2022年11月22日 ～2023年5月22日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,785

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

インド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

政府はインフラプロジェクトへの投資資金を中期的に安定して確保するため、インフラ資産の証券化などによる売却を進めようとしています。政府は高い経済成長を維持するためにはインフラの整備が不可欠としており、インフラ関連銘柄は中期的に魅力的な投資先であると考えます。今後のインド株式市場は、インフレや企業収益および金融政策の動向などに引き続き影響を受けると考えます。

インド政府は国内製造割合を高めるために「生産連動型インセンティブ (PLI)」制度や防衛・電子部門向けの段階的な製造プログラムを発表し、製造業振興策である「メイク・イン・インド」を推し進めています。引き続き債務が少なく、持続性のあるビジネスモデルを有する企業の株式を選好し投資を行ってまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2022年11月22日～2023年5月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	86円	0.673%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、12,834円です。
(投信会社)	(35)	(0.274)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(49)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	87	0.679	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

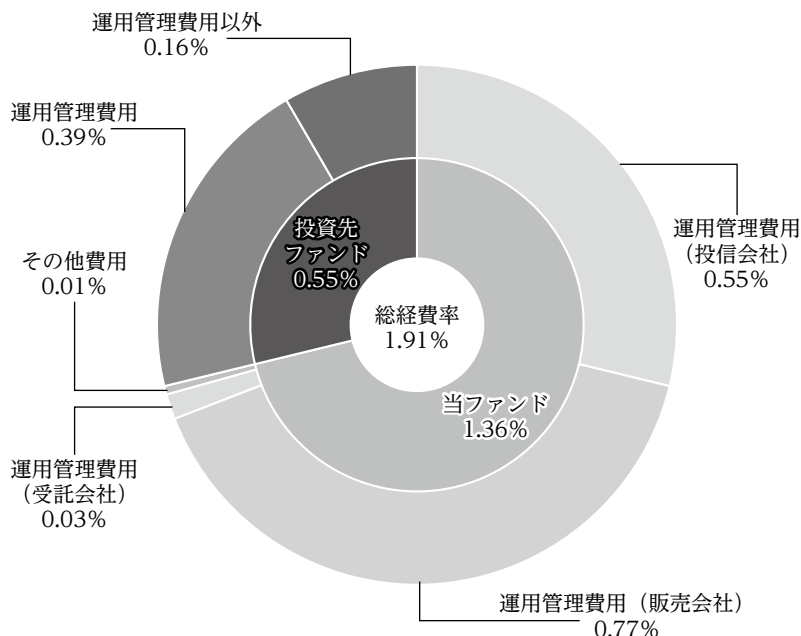
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率 (①+②+③)	1.91%
①当ファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2022年11月22日から2023年5月22日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
			千口	千米ドル	千口	千米ドル
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・インフラストラクチャー・ エクイティ・オープン・リミテッド	407	10,500	—	—

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2022年11月22日から2023年5月22日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2023年5月22日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	99,168	99,168	105,762	0.4
合 計	99,168	99,168	105,762	0.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	6,608	7,016	182,747	25,168,003	97.3
合 計	6,608	7,016	182,747	25,168,003	97.3

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2023年5月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	105,762	0.4
投 資 証 券	25,168,003	96.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	804,722	3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	26,078,487	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(25,168,003千円)の投資信託財産総額(26,078,487千円)に対する比率は96.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年5月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=137.72円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年5月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	26,078,487,338円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	804,721,072
投資信託受益証券(評価額)	105,762,963
投資証券(評価額)	25,168,003,303
(B) 負 債	210,821,003
未 払 解 約 金	46,823,036
未 払 信 託 報 酬	162,596,750
未 払 利 息	2,314
そ の 他 未 払 費 用	1,398,903
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	25,867,666,335
元 本	19,024,820,108
次 期 繰 越 損 益 金	6,842,846,227
(D) 受 益 権 総 口 数	19,024,820,108口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,597円

(注1) 元本の状況

期首元本額 17,886,723,575円

期中追加設定元本額 1,697,842,518円

期中一部解約元本額 559,745,985円

(注2) 1口当たり純資産額は1,3597円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2022年11月22日 至2023年5月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 325,933円
支 払 利 息	△ 325,933
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 600,994,176
売 買 益	18,169,522
売 買 損	△ 619,163,698
(C) 信 託 報 酬 等	△ 164,051,669
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 765,371,778
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,962,777,796
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,645,440,209
(配当等相当額)	(3,140,785,760)
(売買損益相当額)	(△1,495,345,551)
(G) 計 (D+E+F)	6,842,846,227
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	6,842,846,227
追 加 信 託 差 損 益 金	1,645,440,209
(配当等相当額)	(3,140,785,760)
(売買損益相当額)	(△1,495,345,551)
分 配 準 備 積 立 金	5,963,136,884
繰 越 損 益 金	△ 765,730,866

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,140,785,760円)および分配準備積立金(5,963,136,884円)より、分配対象収益は9,103,922,644円(10,000口当たり4,785円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドのインフラ関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM）※ ¹
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.40%	
管理報酬	年率0.20%程度	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料、現地税務代理人費用等がかかります。	
設立日	2006年10月9日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1－10年債）※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2022年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2022年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	1,870,869
その他利息	35,450
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	44,142,464
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	(41,270,145)
外国為替取引に係る未実現純利益（損失）	(29,106)
	<hr/>
	4,749,532
	<hr/>

費用

運用報酬	(834,549)
保管銀行費用	(113,248)
管理費用	(61,725)
計算事務費用	(36,478)
銀行手数料	(9,422)
取引手数料	(23,625)
免許登録費用	(5,300)
専門家報酬	(44,094)
監査報酬	(46,391)
その他費用	(6,935)
売買委託手数料	(622,774)
外国為替取引に係る実現純利益（損失）	(435,501)
	<hr/>
	(2,240,042)
	<hr/>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	2,509,490
税金	(1,367,182)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<hr/>
	1,142,308
	<hr/>

投資有価証券明細表

2022年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
ABB India Ltd	65,171	1,890,385	2,667,314	1.34%
Amber Enterprises India Limited	131,304	4,434,727	3,729,888	1.87%
Ashoka Buildcon Ltd	556,285	859,325	561,732	0.28%
Axis Bank Ltd	603,282	4,413,973	5,687,028	2.85%
Bajaj Finance Limited	112,906	6,146,753	10,347,788	5.18%
Bajaj Finserv Limited	15,128	1,545,251	3,218,833	1.61%
Brigade Enterprises Ltd	1,426,034	3,230,107	9,163,214	4.59%
Capacit'e Infraprojects Limited	168,203	458,882	349,089	0.17%
Container Corp Of India Ltd	1,073,781	8,319,680	9,382,185	4.70%
Chalet Hotels Limited	973,023	3,722,469	3,933,864	1.97%
Camlin Fine Services Ltd	443,013	688,264	720,763	0.36%
Delhivery Limited	929,040	5,849,009	6,629,890	3.32%
Dixon Technologies India LTD FV2	86,699	2,425,568	4,462,988	2.24%
DLF Ltd	825,281	3,730,406	4,037,406	2.02%
Easun Reyrolle Limited	1,499,989	2,257,149	47,980	0.02%
GAIL India Ltd	3,676,165	6,538,113	6,276,089	3.14%
Gateway Rail Freight Limited FV10	6,254,864	2,853,074	5,339,271	2.68%
Gei Industrial Systems Limited	872,000	1,227,946	—	0.00%
Gujarat State Petronet Ltd	534,122	1,421,221	1,623,416	0.81%
Grindwell Norton Limited	265,458	2,264,312	7,326,123	3.67%
Hindalco Industries Ltd	830,787	1,599,367	4,574,990	2.29%
ICICI Bank Ltd	1,487,997	9,785,940	16,561,837	8.30%
Indiamart InterMesh	73,755	5,541,841	4,080,101	2.04%
ITD Cementation India Ltd	1,093,105	692,723	1,458,261	0.73%
JK Cement	35,000	1,209,524	1,192,674	0.60%
JSW Steel Limited	394,791	1,849,497	3,302,661	1.65%
Larsen & Toubro Ltd	635,642	9,850,118	15,329,038	7.68%
Mahindra Lifespace Developers Limited	481,239	996,794	3,132,122	1.57%
Motherson Sumi Wiring India Ltd	2,860,118	2,070,748	2,924,001	1.47%
Oberoi Realty Limited	257,222	2,293,597	3,248,694	1.63%
The Phoenix Mills Limited	381,051	3,774,313	6,722,934	3.37%
PNC Infratech Limited	597,035	1,476,939	2,132,926	1.07%
Prince Pipes and Fittings Ltd	472,392	3,873,353	3,479,858	1.74%
Qess Corp Ltd	539,523	4,438,002	3,871,844	1.94%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産比率 (%)
Reliance Industries Ltd	478,382	16,429,507	15,829,871	7.93%
Sadbhav Engineering Ltd	1,017,448	2,670,031	184,423	0.09%
Sandhar Technologies Ltd	187,062	733,283	520,807	0.26%
SBI Life Insurance Co Ltd	171,937	2,670,095	2,866,573	1.44%
State Bank of India	622,473	2,444,442	4,148,159	2.08%
Sona Blw Precision Forgings Ltd	583,670	2,824,489	3,821,852	1.91%
Shree Cement Ltd	13,805	3,837,365	3,822,396	1.92%
Syrma SGS Technology Limited	88,319	309,903	343,164	0.17%
TATA Steel Limited	4,888,230	5,176,296	6,640,734	3.33%
Triveni Turbine Limited	1,184,783	2,495,534	3,045,950	1.53%
UltraTech Cement Ltd	61,463	3,406,584	5,148,569	2.58%
		<u>156,726,899</u>	<u>203,889,300</u>	102.14%
その他資産			(4,310,255)	(2.16)
純資産			<u>199,579,045</u>	99.98%

「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/26 ～2023/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.221%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,672円です。
（投信会社）	(15)	(0.144)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.235	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1
合 計	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第351回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	49,555	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	58,107	2029/03/20
	第63回 利付国債（20年）	0.1	90,000	87,709	2030/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	50,298	2023/06/20
	第75回 利付国債（20年）	1.9	45,000	45,937	2024/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	20,000	20,875	2025/03/20
	第87回 利付国債（20年）	2.1	38,000	39,858	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	58,660	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	145,686	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	77,500	86,479	2030/03/20	
合 計			619,500	643,170	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。